

出前講座 『保護司と語る会』



1 目的

- (1) 更生保護制度の必要性を理解してもらうことで、犯罪や非行防止の一助とする。
- (2) 中学校との連携事業を通して、将来を担う世代の成長を支援する。

2 日時： 令和 7年 5月 7日 (水) 5校時 13:25～14:15

3 担当保護司

学級	保護司名
1組	渡辺 典正 様
2組	田中 伸裕 様
3組	太田 芳春 様
4組	西尾 秀樹 様
5組	戸塚 文彦 様
フリー	鈴木 万里子 様
	山本 ちづ子 様



◎御家庭でもどんなお話を講座で聞くことができたか、お子様に聞いてみてください。



1組:渡辺様

今日は保護司の方が来てお話をしてくれました。保護司とはどんな仕事なのか、少年法とは何なのかなど、これまで知らなかったいろいろなことを知ることができました。もし、友達に犯罪に荷担することを誘われても、しっかり断る勇気を持ちたいです。



2組:田中様

講座でお話を聞き、13歳と14歳が刑法適応の重要なラインであることを知り、驚きました。「万引きを出来心でやってはいけない。」「相手をその時の感情で傷つけてはいけない。」という言葉が心に残りました。一度犯罪を犯してしまった人にちゃんと向き合うことが大切だと感じました。



3組:太田様

今日の5時間目の学活で保護司の田中さんの話を聞きました。保護司は職業としてやっているのではなく、ボランティアとしてやっていることが分かりました。本来の職業に就きながら、僕達のためにやっていている人がいる、すごいなと思いました。



4組:西尾様

保護司の方のお話では、様々なことを学ぶことができました。目の前のことを見て見ぬふりせず、自分から行動することが、犯罪や非行を減らすことに繋がることを知りました。自分にできる範囲で、犯罪を減らしていくための行動していきたいと強く思いました。



5組:戸塚様

保護司の方のお話を聞いて、出所した人がもう二度と悪いことをしないために「安全・安心の明るい街」を目指しているということを知ることができました。犯罪に手を染めていく1つのきっかけは「自分を透明人間として扱われてしまう淋しさ」ということが印象に残りました。相手の存在をしっかり受け止め、まず気持ちの良いあいさつから1日をスタートさせたいです。

保護司の方のお話を聞いて、保護司の方が犯罪を起こしてしまった人達に対して具体的にどういうことをしているのかや、更正するまで関わりなどを教えてもらうことができました。実際、面談をして状況を確認したり、住む場所や働く場所を提供したり、すごいなと思いました。困ったことや悩むことがあったら、友達や先生に相談したいと思います。

【保護司の方からのお願い】

夏休み、講話の内容を参考にして『社会を明るくする作文』にチャレンジしましょう!